



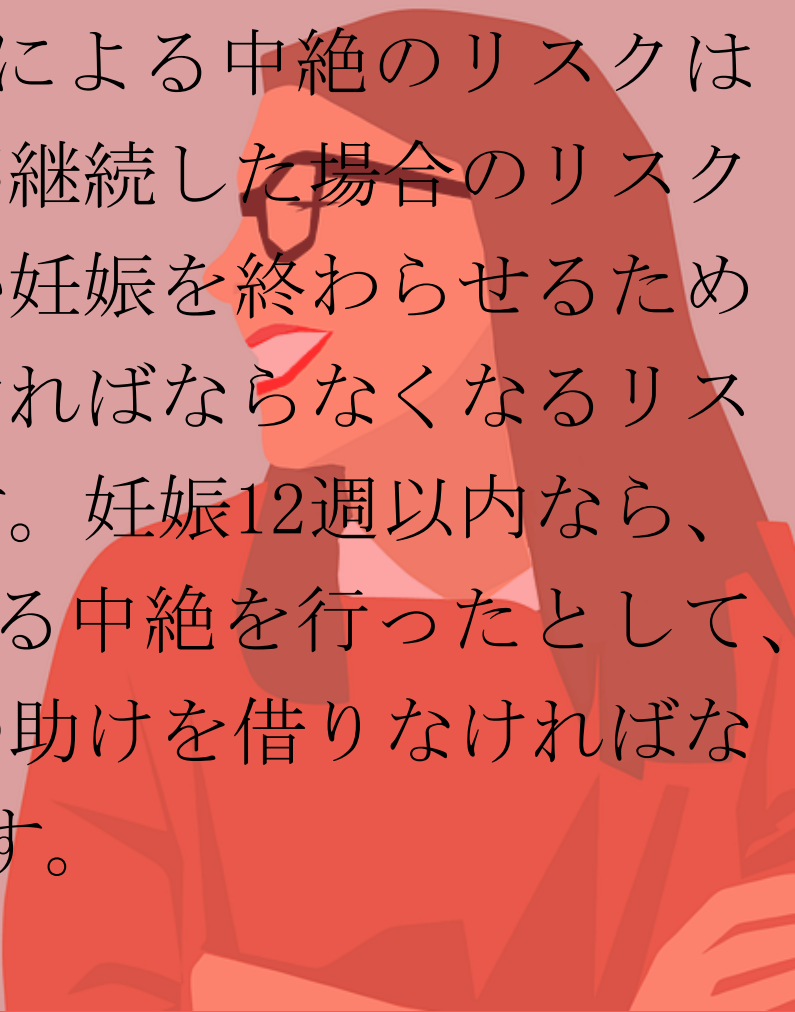
薬による中絶の ファクトシート

薬による中絶とは？

薬による中絶とは、薬を使って、
または薬を組み合わせて使って、
妊娠を終わらせることです。

どれくらい安全なの？

とても安全です！ 薬による中絶のリスクは
とても低いし、妊娠が継続した場合のリスク
より低いし、望まない妊娠を終わらせるため
に別の手段に頼らなければならなくなるリス
クもとても低いのです。妊娠12週以内なら、
100人の女性が薬による中絶を行ったとして、
合併症のために医療の助けを借りなければな
らない人は5人未満です。





中絶するのに
どのような薬
が使われます
か？

最も一般的に使われている薬は、ミフェプリストンとミソプロストールです。抗黄体ホルモン剤のミフェプリストンを先に服用しておいて、24～48時間後にプロスタグランジン薬のミソプロストールを続けて服用します。

ミフェプリストンによって妊娠は終わり、妊娠組織が子宮内膜からはがれおちます。ミソプロストールは、子宮頸管を柔らかくして子宮を収縮させ、子宮内容物を体外に排出させます。このプロセスは自然流産とそっくりです。

ミフェプリストンを使えない場合には、ミソプロストールだけで薬による中絶を行うこともあります。

妊娠何週目まで、薬による中絶を行えますか？

世界保健機関（WHO）のガイダンスによると、前回の月経開始日から数えて24週までのあいだ、薬による中絶を行うことが可能です。

ただし、薬の投与量は妊娠がどこまで進んでいるかによって変わります。

妊娠12週以降の薬による中絶は、医療施設において医療従事者の監視下で行わなければなりません。

アフターケアの診察はいつ受ければいいですか？

医療従事者の監視下で行う場合は、薬を服用してから14日後に医療機関でアフターケアの診察を受けてください。

医療提供者は、薬による中絶が成功したかどうか、さらなる治療が必要かどうかを確認します。

薬による中絶ができない人はいますか？

妊娠初期に薬による中絶ができない人は非常に稀です

- 医療提供者が子宮外妊娠の疑いがあるとみている場合
- ミフェプリストンまたはミソプロストールに対するアレルギーがある場合
- 血栓ができやすい疾患があるか、そうした体質の方の場合
- 血液をさらさらにする薬を服用している場合
- 慢性的な喘息や関節炎、その他のアレルギーの治療のためにステロイド剤を服用している場合
- IUD（子宮内避妊具）を入れている場合は、薬による中絶を行う前にIUDを取り外す必要があります。

薬による中絶は将来の子供を持つ能力に影響しますか？

薬による中絶は、将来の子供を持つ能力に影響しないという研究結果が出ています。

妊娠初期の薬による中絶では、どのような副作用がよくありますか？

どのように対処すればいいですか？

出血

ミフェプリストンしかのんでいない段階でも、生理用ナプキン普段より多めに準備しておくといいでしょう。通常、重い生理のような出血があり、いくつか血の塊もみられます。

腹部の痛み

自宅にいるなら、湯たんぽや温熱パッドを使ったり、温かいシャワーを浴びたりすることで痛みに対処できます。生理痛のために普段服用している鎮痛剤をのむか、パラセタモールやメフェナム酸、イブプロフェン系の薬を服用しましょう。

なにかしら忙しくしていることで、気を紛らわすのもいい手です。

寒気と発熱

ミソプロストールを服用した後に、まれに軽い悪寒と体温の上昇が起こることがあります。発熱が2時間くらい続くこともありますが、深刻な副作用ではありません。暖かい毛布さえあれば、特別な治療は必要ありません。

吐き気

人によっては軽度から重度の吐き気に悩まされることがあります。

軽い食事と水分をたっぷりとることで改善されます。薬をのんでから30分以内に吐いた場合は、薬をもう一度のむ必要があります。症状が重い場合は、医療機関に連絡して吐き気をやわらげる薬を処方してもらうことができます。

薬による中絶の後で、どのような合併症が起こる可能性がありますか？

大量出血

ごくまれに、子宮から大量の出血が起こることがあります。大量出血とは：1時間に厚手の生理用パッド2枚がぐっしょり濡れる状態が2時間続くようなら、医療機関に連絡してください。その場合、ミネラルの損失を補うために大量の水分を取るようにしてください。

感染症

寒気や軽い発熱は薬の副作用ですが、38度以上の熱が4時間以上続く場合、あるいはミソプロストールを服用した後に発熱した場合には、かかりつけ医に連絡してください。

薬による中絶を行った後は、 いつからセックスできますか？

出血が完全に止まるまで10日ほどかかるため、その間は膣に挿入する行為はやめてください。もちろん、あなた自身がその気にならないうちに、性行為を再開する必要はありません！

RECOMMENDATION 3B

Medical management of induced abortion at ≥ 12 weeks of gestation

RECOMMENDATIONS	COMBINATION REGIMEN (RECOMMENDED ^a)		MISOPROSTOL-ONLY (ALTERNATE)
	MIFEPRISTONE	>> 1-2 DAYS >> MISOPROSTOL	MISOPROSTOL
INDUCED ABORTION ≥ 12 WEEKS	200 mg PO once	400 μ g B, PV or SL every 3 hours ^{b,c}	400 μ g B, PV or SL every 3 hours ^{b,c}

B: buccal; PO: oral; PV: vaginal; SL: sublingual

We suggest the use of 200 mg mifepristone administered orally, followed 1–2 days later by repeat doses of 400 μ g misoprostol administered vaginally, sublingually or buccally every 3 hours.^{b,c} The minimum recommended interval between use of mifepristone and misoprostol is 24 hours.

For the misoprostol-only regimen, we suggest the use of repeat doses of 400 μ g misoprostol administered vaginally, sublingually or buccally every 3 hours.^{b,c}

妊娠12週（または84日）未満の薬による中絶の方法：

ミフェプリストンとミソプロストールを使う方法

妊娠9週（63日）まで

ミフェプリストン服用後24～48時間に、ミソプロストール800 μg を膣内に入れるか、頬の内側または舌の下でゆっくり溶かす（1回限り）。

あるいは

妊娠7週間（49日）未満の場合は、ミフェプリストン服用後24～48時間に、ミソプロストール400 μg を経口で服用する（1回限り）。

妊娠9～12週間（63～84日）

ミフェプリストンを服用してから36～48時間後に、ミソプロストール800 μg を膣内に入れ、その後、3時間ごとにミソプロストール400 μg を膣内に入れるか舌の下でゆっくり溶かす（最大5回まで）。

ミソプロストールを単独で使う方法

ミソプロストール800 μ gを膣内に入れるか舌の下でゆっくり溶かす。

3～12時間ごとに5回まで服用可能。

[参照:安全な中絶のための臨床実践の手引き WHO 2014](#)

薬による中絶に関して詳しくは以下を参照してください：

[WHO 『安全な中絶：保健システムのための技術的・政策的ガイダンス 第2版』](#)

[Women on Web](#)

[Medical Abortion by Ibis Reproductive Health and Cambridge Reproductive Consultants](#)

[Medical Abortion: An overview by Gynuity Health Projects](#)

SNSで交流しましょう！

Facebook -

@AsiaSafeAbortionPartnership

Twitter- @asapasia

Instagram-

@safeabortion_asap

Youtube- ASAPasia

Website-

asap-asia.org



日本では女性が自分で中絶を行うことは今も刑法で禁止されていますが、リプロダクティブ・ヘルス&ライツに関する正しい情報を得ることはすべての人の権利です。

中絶薬の服用方法の研究は常に進化しており、現在複数の方法が併存しています。日本で中絶薬を合法的に使えるようになった時には、必ず最新情報に基づいてお使いください。

Translated by Kumi Tshukahara, 2021



Reproductive Health and Rights Literacy Lab
<https://www.rhr-literacy-lab.net/>